

わかやま母親通信

第78号 2019年11月22日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

HP 和歌山県母親大会

第65回日本母親大会 in 静岡 (和歌山県より、大人36名、子ども5名参加) ～8月25日 全体会参加者の感想から③

母親大会参加でたくさんのパワーを!

那賀 新婦人 C. N.

「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます」をスローガンに全国から何千人ものお母さんが一堂に集まる母親大会。今年は、2日間でのべ人数9千人との報告でした。「誰のコンサート?」と思わせる勢いです。こんなに多くの方が思いを一つに各地で頑張っていることを知ると、「がんばるぞ!」という気持ちになります。そして、何よりも記念講演、分科会での講師の方のお話です。丁寧で分かりやすく大変勉強になります。……(分科会の感想は前号に乗せましたので、ここでは省略)。

毎年、新婦人岩出支部では、母親大会参加には現地観光のオプションがついています。今年は、大井川鐵道で昭和年代10年代から20年代を走った冷房のないレトロな客車に乗って、茶畑や大井川を眺める車窓の旅でした。窓から吹き込む自然の風が心地よかったです。年の差があり姉妹のような5名が駅弁を食べながら昔話に花を咲かせ、車窓を楽しみながらのんびりと時間を過ごしました。これも明日への活力につながります。

学びあり、観光あり、パワーをたくさんいただける母親大会。今年もとても充実した2泊3日の研修の旅になりました。

2023年の日本母親大会開催を和歌山県の地で!

県母連役員会としては昨年9月より1年間論議し続け、全県的には3月の提起から半年余りの論議を繰り返して、9月7日(土)の全県代表者拡大会議(各母連・団体より複数参加)で、「受ける方向」を確認しました。

この間、戸惑い、不安、心配の声や様々な意見が県事務局へ寄せられました。宿泊場所や交通関係、会場確保、協力団体、担い手の年齢層や和歌山県の力量など、ご指摘を受けた諸点は、慎重に事前調査もしながら、私たちの力量とやり方でできる和歌山県らしい企画を考えていきたいと思えます。そして、全国の運動を学ぶとともに、和歌山県の運動を知ってもらい、私たちが願う“平和で誰もが人間らしく暮らせる社会”の実現のために、確かな一歩を刻む役割を果たしましょう。

平和な未来を子どもたちに

那賀 新婦人 N. S.

母親大会の原点になった地(静岡)へ、新婦人岩出支部から6人が参加しました。

記念講演は、原水爆禁止世界大会起草委員長・関西学院大学教授の富田宏治氏で、「ビキニ被災から65年—核兵器のない平和な未来を」と題して講演がありました。

65年前、太平洋の真ん中ビキニ環礁で、アメリカが水爆実験をし、静岡の第5福竜丸など数百隻の漁船が被災。第5福竜丸の久保山愛吉さんは、「原水爆の犠牲者は、私を最後にしてほしい」と最期の言葉を残した。その言葉を受け止め、翌年から日本母親大会と原水爆禁止世界大会が開かれるようになった。

ヒロシマ・ナガサキのヒバクシャの声は世界の声となり、今や世界を動かして、2017年に国連で「核兵器禁止条約」が採択され、70カ国が調印、現在25カ国が批准、発効への道も着実に進んでいる。(50カ国が批准すれば発行) 国連の玄関には私たちが集めた「核兵器廃絶国際署名」941万筆が積み上げられている。

来年2020年は、NPT(核不拡散)再検討会議も開かれる年(5年に一回)、オリンピックだけでなく、市民の力で核兵器禁止条約発効の年にしていこう。

各地の運動交流では、日本中米軍基地の問題。沖縄辺野古新基地建設のこと、佐賀空港のオスプレイ基地に、横田基地(アメリカ軍と自衛隊が併用)のオスプレイが昼夜を問わず騒音をまき散らして飛んでいる。青森・山口からイージス・アショアはいらないと。北海道、福島、福井からは原発はいらない、再稼働反対。

生活保護費引き下げ反対と裁判で闘っている人、不当解雇で闘っている人、無実の罪でとらわれている人を支えている人、消費税10%増税やめさせよう、ジェンダー平等・男女平等、カジノは



いらない等々、今の政治の矛盾に、日本中の女性が、平和、みんなの幸せを願って運動している。憲法9条を守る、自分が自分らしく生きられるようにがんばっていききたい。

有田 新婦人 T. I.

全体会は、「女性差別撤廃条約採択40年—ジェンダー平等の実現をめざして」へ。

空席もなくほとんど埋まって、司会はやはり柴田さんで、挨拶は笠井さん。今年のテーマが、初めて「ジェンダー平等」に焦点が当てられ、浅倉睦子・早稲田大学名誉教授の講演でした。大学の講義そのもの(?)で難しかったけれど、「女性差別撤廃条約」は40年前に採択され日本も批准したけれど、その後の「選択議定書」に批准していないため、実効性が伴わない現実をととても詳しく、事実に沿って教えてくださいました。

おのずと日本の怠慢さ、消極性、人権無視の施策のひどさが浮かび上がってくる、よい講演で、頭の中にすーと入ってきました。1つ1つ論破し、女性の行動力と合わせて各論でも学習し強くなって政府を動かしましょう、と。

各県の男女共同参画事業にも参加して、活動していくことが大切で、「ひとりひとりが現実を動かす力になれるはず」とは、来賓挨拶の角田弁護士の激励の弁でした。

～8月24日 分科会参加者の感想から③～

31 見学 東富士演習場見学と富士山五合目から雄大な富士山を仰ぐ

和歌山市 新婦人 M. I.

「静岡に行きたかった。」紙芝居を通して知り合った友人と一緒に参加できればと、そして、静岡駅前にある「百町森」という店を訪ねたくて、しおりをじっくり眺めているうち、「東富士演習場見学と富士山五合目から雄大な富士山を仰ぐ」の見学分科会に心が決まりました。

東京へ行く時、遠くに見る富士山を近くで見たい！転勤で沖縄へ行った長男の住むマンションで戦闘機の轟音を聞いて、毎日こんな音の中で生活する人々の思いを知りたいと思ったからです。早朝6時半から爆音が始まり、体調不良になるそうです。

御殿場平和委員会が作成し、3日前に刷り上がったガイドブックを参考に、観光バスに揺られて基地の中を通行。バスが、前から列をなして来た自衛隊の深緑の軍用車とすれ違った時、「大丈夫かな。」と不安がよぎりました。「ここは国道です。ここは基地の中です。」等々の説明をしてくれた方の人格に触れられたことも素晴らしいことでした。

北海道、沖縄に次いで、全国3位の面積を基地に使われてしまっている静岡県ということを知らずにいました。1912年から帝国陸軍の演習場だったし、戦後は米軍に占領され、自衛隊の演習場となった1968年から、地位協定による米軍の一時使用基地となり、世界第2位の米軍基地となってしまいました。オスプレイの訓練常態化が2012年から始まり、「オスプレイに反対する東富士住民の会」を立ち上げ、周辺に看板を10枚立てるために、地元住民の応援を取り付けることも粘り強く続けておられるそうです。

明日が「富士総合火力演習」で、前後5日間に使用する国税は13億円だそうです。「保育所がいくつ建つでしょうね。」と。富士山が正面に見える場所で、「どこに？」と尋ねる必要があるくらい雲に隠れていました。本当は5合目のここから、東富士演習場の全景が見えるそうです。いつか再び訪れたいです。



24 いまこそくらしに憲法をいかそう

和歌山市 年金者組合 T. I.

お馴染みの小森陽一さんが、「何年何月何日に何があった。」と恐るべき記憶力で、いつものように立て板に水のごとく話されました。参院選で改憲勢力が3分の2をとれなかったにもかかわらず、安倍首相は任期中の改憲をあきらめていないと訴えられました。

さらに、トランプ政権は、イランとの軍事対決を図ろうと、日本に対しても参加の圧力を加え、こうしたアメリカの戦争への武力加担こそ安保法制を強行した目的であり、9条改憲の狙いに他ならないのだと聞き、納得がいきました。私は恥ずかしながらわかっていなかったのです。なぜ、こんな人が長期にわたって首相の座に居座り続けていられるのでしょうか。 * 第65回日本母親大会の感想文の掲載は、以上で終了します。

11月22日(金) 本日の母連対県交渉は28項目の要求で

本日はごくろうさまです。これまでの要求に、今年の第64回和歌山県母親大会(橋本市)の申し合わせ事項にまとめられた要望を追加して、28項目を提出しています。

毎年、いろいろな団体による対県交渉が行われますが、本日の母親対県交渉は、女性の力で準備し女性主体で取り組まれるものです。女性独特の目線で、「教育・子育て」「社会保障」「くらし」に関する切実な諸要求の実現を要望しましょう。「カジノ」などではなく、現行憲法を遵守し、住民が住んで良かった、子育てしやすい、暮らしやすいと実感できるような安全・安心の諸制度や福祉の充実を最優先する県政を求めましょう。

これからの予定…各地での取り組み・ご参加をお願いします。

- * 12.8 平和行動・・・本日、赤紙をお渡しします。
- * 2020. **2.1~2**(土・日) 第53回近畿ブロック母親運動学習会 in 神戸市
- * 3.8 国際女性デーの取組み・・・各地で取り組みましょう。
- * 第65回和歌山県母親大会 in **有田川町 2020. 6. 21(日)**
有田川町立鳥屋城小学校と金屋文化保健センター(予定)
- * 第66回日本母親大会 in **沖縄 11.28~29**(土…全体会 日…分科会)
今からワンコイン貯金を始めて、多数のご参加をお願いします。

訃報 滋賀県母親大会連絡会の元事務局長 北島やゑ子さん ご逝去

10/1日に、長く病床に伏せることなく穏やかに97歳で永眠されたそうです。10/4の告別式に、N事務局長が参列させていただきました。

長く母親運動に関わって来た方の中には、北島さんをご存じの方も多いと思います。1955年の第1回大会から2013年の第59回大会まで、実に59年間事務局長を務められ、滋賀県の草の根の母親運動・母親大会を作り上げて来られました。そして、滋賀県のみならず近畿の母親運動、女性運動の指導者でもありました。和歌山県へも講師としてお越しいただきました。私は、30代で初めてお会いし母親運動のイロハを教わりました。その30年後再び事務局長になってからも、いつも温かく適切なお指導をいただき、和歌山県の母親運動への示唆をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。(SN記)